

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 UCS

コード番号 8787 URL <http://www.ucscard.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 外山 綱正

TEL 0587-24-9028

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	9,115	7.2	1,613	△14.1	1,614	△14.2	912	△21.2
26年2月期第2四半期	8,500	2.5	1,878	52.9	1,881	52.6	1,157	58.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	48.50	—
26年2月期第2四半期	61.53	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	136,039	21,532	15.8	1,144.90
26年2月期	127,088	20,996	16.5	1,116.41

(参考)自己資本 27年2月期第2四半期 21,532百万円 26年2月期 20,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,750	8.4	3,500	5.2	3,500	5.1	2,150	5.7	114.32

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	18,807,700 株	26年2月期	18,807,700 株
27年2月期2Q	95 株	26年2月期	95 株
27年2月期2Q	18,807,605 株	26年2月期2Q	18,807,614 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和策を背景に円安・株高傾向が続き、企業収益や雇用情勢は改善するなど、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、個人消費については、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が影響し、依然として先行きの不透明な状況で推移しております。

当業界におきましては、ショッピングの取扱高は、消費税率引き上げ後も堅調な状況が続いております。一方で、金融商品残高の減少幅は徐々に縮小しておりますが、引き続き厳しい状況が継続しております。

このような状況において、当第2四半期累計期間の業績は次のとおりであります。

#### ①カード事業

##### (ア) 包括信用購入あっせん

取扱高は、消費税増税の駆け込み需要の反動減から持ち直し傾向にあり、グループ営業企画等を実施し、堅調に推移いたしました。また、請求単価の増加やカード稼働率の向上により、営業収益も増加いたしました。

この結果、取扱高は298,487百万円(前年同期比9.4%増)、営業収益は6,127百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

##### (イ) 融資

貸金業法改正の影響により、取扱高、残高ともに厳しい状況が継続しております。取扱高は、7,019百万円(前年同期比1.9%減)、営業貸付金残高は、前事業年度末に比べ、4.3%減、581百万円減少し、12,948百万円となりました。

この結果、営業収益は1,180百万円(前年同期比12.5%減)となりました。

##### (ウ) 電子マネー

平成26年7月18日より全国のサークルKサンクスによる取り扱いを開始いたしました。また、アピタのインターネットショッピングおよびアピタ・ピアゴのショッピングセンター内の一部専門店においても順次取り扱いを開始し、利便性向上と新規会員の拡大を図りました。

この結果、電子マネーの取扱高は40,812百万円と堅調に推移し、カード発行手数料等を合わせた電子マネーの営業収益は468百万円となりました。

##### (エ) 保険代理業

クレジットカード会員向け通販保険では、保険料率が改定となり苦戦しましたが、テレマーケティングに加え対面販売の強化により堅調に推移し、営業収益は265百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

その他の営業収益をあわせ、カード事業の営業収益は合計で8,474百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

営業費用につきましては、包括信用購入あっせんおよび電子マネーの取扱高の増加に伴うポイント費用の増加や貸倒関連費用の増加により、6,997百万円(前年同期比14.3%増)となりました。

以上の結果、カード事業の営業利益は1,476百万円(前年同期比15.1%減)となりました。

#### ②保険リース事業

##### (ア) 保険代理業

損害保険が堅調に推移し、営業収益は568百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

その他車両リース等の収益を合わせ、保険リース事業の営業収益は合計で640百万円(前年同期比0.7%増)となり、営業利益は136百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

以上の結果、当社の取扱高は346,319百万円(前年同期比23.3%増)、営業収益は9,115百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は1,613百万円(前年同期比14.1%減)、経常利益は1,614百万円(前年同期比14.2%減)、四半期純利益は912百万円(前年同期比21.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部におきましては、主に包括信用購入あっせん取扱高の増加による割賦売掛金の増加および電子マネーの預け金が増加いたしました。この結果、資産合計は136,039百万円となり、前事業年度末に比べ、7.0%増、8,950百万円増加しております。

負債の部におきましては、主に包括信用購入あっせん取扱高の増加により買掛金が増加するとともに、ポイント引当金が増加し、負債合計は114,506百万円となり、前事業年度末に比べ、7.9%増、8,414百万円増加しております。

純資産の部におきましては、四半期純利益により912百万円増加し、純資産合計は21,532百万円となり、前事業年度末に比べ、2.6%増、535百万円増加しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想は、概ね計画通りに推移しており、平成26年4月7日に発表いたしました見通しから変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,585,962	949,496
割賦売掛金	84,766,844	89,112,749
営業貸付金	13,949,986	13,344,471
未収収益	1,202,784	1,359,388
未収入金	12,922,225	12,636,876
預け金	6,295,846	11,265,424
その他	2,709,708	3,465,805
貸倒引当金	△1,470,000	△1,243,000
流動資産合計	121,963,357	130,891,210
固定資産		
有形固定資産	1,756,877	1,823,821
無形固定資産	2,253,225	2,224,646
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,172,168	1,163,678
貸倒引当金	△56,813	△63,851
投資その他の資産合計	1,115,354	1,099,827
固定資産合計	5,125,457	5,148,296
資産合計	127,088,814	136,039,507
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,924,384	50,517,950
短期借入金	42,337,825	42,054,195
1年内返済予定の長期借入金	6,000,000	5,650,000
役員賞与引当金	22,437	-
賞与引当金	156,000	65,048
ポイント引当金	1,457,000	2,745,000
その他	4,535,283	4,962,137
流動負債合計	96,432,929	105,994,331
固定負債		
長期借入金	7,750,000	6,600,000
利息返還損失引当金	1,832,000	1,848,000
その他	76,908	64,281
固定負債合計	9,658,908	8,512,281
負債合計	106,091,838	114,506,613

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,610,890	1,610,890
資本剰余金	2,001,890	2,001,890
利益剰余金	17,380,748	17,916,710
自己株式	△45	△45
株主資本合計	20,993,483	21,529,445
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,492	3,447
評価・換算差額等合計	3,492	3,447
純資産合計	20,996,976	21,532,893
負債純資産合計	127,088,814	136,039,507

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業収益		
包括信用購入あっせん収益	5,770,213	6,127,409
融資収益	1,356,997	1,186,574
保険代理業収益	819,436	833,791
その他の収益	553,612	967,559
金融収益	2	2
営業収益合計	8,500,262	9,115,337
営業費用		
販売費及び一般管理費	6,383,791	7,366,838
金融費用	237,892	135,205
営業費用合計	6,621,683	7,502,043
営業利益	1,878,578	1,613,294
営業外収益		
受取配当金	485	567
雑収入	2,169	4,125
営業外収益合計	2,655	4,692
営業外費用		
雑損失	3	3,217
営業外費用合計	3	3,217
経常利益	1,881,231	1,614,769
特別損失		
固定資産除却損	10,225	12,679
特別損失合計	10,225	12,679
税引前四半期純利益	1,871,005	1,602,090
法人税、住民税及び事業税	1,199,788	1,319,633
法人税等調整額	△486,014	△629,658
法人税等合計	713,774	689,975
四半期純利益	1,157,230	912,114



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	カード事業	保険リース事業	
営業収益	7,864,217	636,045	8,500,262
セグメント利益	1,740,132	138,446	1,878,578

(注)セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	カード事業	保険リース事業	
営業収益	8,474,821	640,516	9,115,337
セグメント利益	1,476,898	136,395	1,613,294

(注)セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。